

木質バイオマスの 取り組み

問い合わせ先
再エネ推進係
☎ 77-8387

再エネ勉強会を開催しました



建設中のつべつ木質バイオマスセンター



つべつウッドロスマルシェ模擬開催の様子

現在、津別町森林バイオマス利用推進協議会では、木質バイオマスセンターの本年4月稼働に向け、受け入れ手順や材の買取価格等の仕組みづくりを目的につべつウッドロスマルシェ実証事業を行っています。

昨年8月27日には、つべつウッドロスマルシェの模擬開催を中間土場（旧本岐中学校グラウンド）にて行い、合計1,550kgの木材が町内外から集まりました。

取り組みについて、意見や質問を皆さまからいただくことを目的に、昨年11月24日に再エネ勉強会を開催しました。町内外から合計16人（web参加含む）の方が参加し、模擬開催の結果報告の後、意見交換を行いました。



再エネ勉強会の様子

参加者からのご意見（抜粋）

●循環エネルギーの事業目的には大いに賛同する。高齢者への持ち込み支援を考えるとどうか。

●愛林のまち宣言をしている町民として、この事業が全道、全国に広まっていくことができれば、大変喜ばしいこと。

●道外の同様の取り組みでは枝付きの材を受入れているがなぜしないのか。

【回答】幹と枝を分ければ受け入れ可能。

●枝条を砕いたチップは木質バイオマスポイラーで使えるか試験をしたか。

【回答】今年度導入するチップパー機にて、今後試験を予定。勉強会では、たくさんのご意見をいただきました。

つべつウッドロスマルシェ実証事業の結果については、本年2月2日（木）に開催予定の成果報告会にて報告します。詳細は、本誌折り込みチラシをご覧ください。
興味のある方はぜひご参加をお願いします。

【関連記事】

地域内エコシステムの構築について

広報つべつ
令和3年3月号掲載



つべつウッドロスマルシェについて・
つべつ木質バイオマスセンターについて

広報つべつ
令和4年2月号掲載



【関連動画】
バイオマスエネルギー特集

タウンニュースつべつ
第46回

